

平成21年
第160号
2月15日

芦屋町議会だより



もくじ

議長年頭あいさつ	2
定例会・臨時会他	3～4
一般質問	5～11
議決結果他	12

～ 新しくなった議場にて ～



平成二十一年 議長年頭の挨拶

芦屋町議会議長 横尾 武志

新年明けましておめでとうございます。

住民の皆様には、日頃から町政に対する暖かいご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は、アメリカのサブプライムローン問題に端を発した世界的不況により、大企業の倒産や失業問題が大きく影を落とした一年でしたが、明るいニュースとしては、私どもの選挙区から総理大臣を輩出した事でしよう。

このような中、今年は、アメリカ大統領もオバマ氏に代わり、日本政府も第二次補正予算を提出し、未曾有の経済危機に対する経済対策が実施され少しでも明るい年となることを期待するところです。

また、芦屋町としても、なんらかの経済活性化対策の実施を考慮されているようですが、三位一体改革に基づく地方交付税の削減、競艇事業の不振により、非常に厳しい財政下にあることは変わっておりません。

こういう状況の中、私ども町議会といたしましても、活力ある町づくりを目指し、町執行部との意思の疎通を図り、十分に協議しながら、行政改革を進めると共に、議会改革を更に進めようと考えている次第です。

今後とも町勢発展と住民福祉の充実のため、微力ではありますが、最大の努力をいたす所存でありますので、どうか皆様のご協力とご支援をお願いいたします。

終わりにりましたが、皆様方のご健康とご多幸と心からご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



主な議案

条例

芦屋町国民健康保険条例の一部を改正する
条例の制定について

産科医療補償制度創設に伴う保険料の水準を踏まえ、出産育児一時金が3万円引き上げられました。

芦屋町敬老祝金条例の一部を改正する条例
の制定について

敬老祝金の支給対象から70歳を外し、また、遠賀郡内の水準を勘案して、満77歳の支給額



予算

2万円を1万5000円に改める条例案が出されましたが、慎重審議を要するため継続審査となりました。

平成二十年度芦屋町一般会計補正予算(第三号)について

歳入歳出それぞれ4300万円増額するものです。

歳入については、特定防衛施設周辺整備調整交付金及び地方税等減収補てん臨時交付金を増額し、不足する財源を財政調整基金から繰り入れるものです。

歳出については、職員の異動及び1月からの職員採用に伴う人件費、子育て支援センター整備工事に関する設計委託費、芦屋町中学校等耐震補強工事の実施設計委託費等を計上するものです。

人事

芦屋町教育委員会委員の選任同意について

任期満了に伴い、次の方の再任が満場一致で同意されました。

安高 吉明氏

大字芦屋1150番地2

請願

精神障がい者の福祉施設の確保に関する請願

NPO法人はまゆう会理事長の伊原加津代氏より、現在の施設では、十分な活動ができないため、ワークはまゆう施設の増設や公共空き施設の提供を求める請願が提出され、満場一致で採択されました。

その他

芦屋町緊急経済対策の推進決議

世界的金融恐慌により、国による緊急経済対策が発表されている中で、政府の経済対策を補完する町独自の経済対策を実施するよう求める決議がなされました。

12 月定例会

第4回定例会が、平成20年12月2日から15日まで14日間の会期で開催されました。条例、補正予算、決算の認定などの議案が上程され、右のとおり議決されました。

その他の議案については、最終ページをご覧ください。
なお、詳しくは、芦屋町ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

第一回臨時会

第一回臨時会が、平成21年1月9日に1日限りの会期で開かれ、条例、予算などの議案が上程され次のとおり議決されました。

主な議案

条例

芦屋町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

定年退職による退職の特例について新たに規定するため改正するものです。

具体的には、定年退職すべき職員の特種性や職務遂行上の特別の事情からみて、一定の理由がある場合には、期限を定め、引き続き勤務させることができるよう改めるもので賛成多数で可決されました。

予算

平成二十年度芦屋町一般会計補正予算（第四号）について

歳入歳出それぞれ300万円増額するものです。

歳入については、過疎債を借り入れ、今年度執行予定していたレジャープールのライダー改修工事の入札が不調に終わったため、20年度、21年度の継続事業に切り替えて、過疎債を減額するとともに、歳出に対して不足する金額を、財政調整基金から繰り入れるものです。

歳出については、町単独の緊急経済対策として、プレミアム付地域振興券発行業務委託費、調査により伐倒本数が増加した松くい虫伐倒駆除委託費、調整交付金事業で行う工事等の落札率の変動により、懸念される調整交付金の執行不足額を補うため、総合体育館のランニングマシン等の備品購入費を計上するとともに、レジャープールライダー改修工事費の21年度分年割額を減額するものです。

議場が新しくなりました

庁舎改修工事も無事終わり、議場も新しくなりました。車椅子でも傍聴できるようになりましたので、是非傍聴へお越しください。

なお、傍聴するには、議会当日に氏名・住所を記入するだけです。

日程等は、芦屋町ホームページにて公開しています。



階段を上り、
いざ議場へ！



扉を開けると・・・
そこには、新議場が！



議長席からは、
こんな感じに見えています



足の不自由な方は
こちらからどうぞ



段差がないため
安心して傍聴できます

一般質問

町政を問う

質問者と内容

今井 保利 議員

1. 地域の活性化（地域再生）について
2. 競艇事業からの収益等について

貝 掛 俊 之 議員

1. 学校教育について
2. 社会教育について

辻 本 一 夫 議員

1. 経済・景気対策について
2. 人材育成・行政サービスの向上について

小 田 武 人 議員

1. 健全な財政運営について

川 上 誠 一 議員

1. 芦屋基地について
2. 航空機騒音等について

岡 夏 子 議員

1. 子育て支援について
2. 障がい児の学童保育について
3. 児童虐待防止とDV防止対策について

田 島 憲 道 議員

1. 賑わいあるまちづくりについて

今井 保利 議員

地域の活性化（地域再生）について

Q 補正予算提出の前に第三者機関による職員の適正人員の把握が必要では

A 適正人員調査等は行っていないが、類似団体や定員モデル等を参考にしている

今井

地域活性に向け、何を重要な施策として取り組んでいるのか。

企画課長

船頭町駐車場跡地への企業誘致事業や浜口町営住宅跡地の民間活力による一戸建て住宅建設事業を計画している。

コンサルタントへ委託し、用途地域の変更を進めているが、具体的な進出企業等はない。

今井

進出企業がない中で、重要施策以外にも雇用の場の創出や電算システムを周辺市町と共用し、経費削減をする等、生き残る道を模索すべきである。

また、職員給与のカットや人員削減等に努力してはいるが、決算歳出に対する人件費の割合は依然高く、第三者機関に適正人員を割り出させることが必要と思うが。

総務課長

適正人員調査等は行っていないが、類似団体や定員モデル等を参考に行っている。

今井

今議会に提出されている補正予算には、新規職員採用を1月1日に前倒するための議案が含まれているが適正人員の調査後に提出すべきではないか。

総務課長

機構改革に伴う必要人員やメンタル面で休

職中の職員等もあり、欠員を生じている部署がある。業務円滑化や他の職員に負担がかかり過ぎないようにという観点である。

今井

状況はわかるが、理論的根拠がない。経験と勘で要員を割り出したにすぎず、明確な要員計画を基に人員を割り出して欲しい。

競艇事業からの収益等について

Q 二カ町施行組合に対し、施設使用料未払金にかかる延滞金等を請求すべきでは

A 協議が整っていないため、今後、取り扱いについて議会へ相談していきたい

今井

競艇事業からの収益が見込めない以上、二カ町施行組合の施設使用料未払金約22億円をこれ以上ふやさないうように努力して欲しいが、

この未払金にかかる利子を二カ町施行組合に請求しているのか。

競艇施設課長

顧問弁護士によれば、未払分の延滞金は双方の合意があれば、減免できるとの見解である。

今井

双方の合意には議決が必要であり、議決が得られていない以上、決算書には利子の請求を計上しなければならないはずだが。

副町長

利息や延滞金の関係は、協議が整っていないが、二カ町施行組合の施設使用料未払金の70%とそれにかかる延滞金や利息は、当町が負担しなくてはならない。

一方で、当町は施設を貸付する側でもあり、延滞金をもらうという面を持っているため、取り扱い等を議会に相談していく。

今井

議会で合意が得られていないものを決算書に載せないというのであれば、決算の認定はできない。

最後に、利益が出ない競艇事業を存続させる意義はどこにあるのか。

副町長

今までに、600億円を超える収益等を生み出し、インフラ整備等、住民生活や福祉に大きく貢献してきた。

全国的に競艇業界は、売上不振に苦しんで

いるが、業界を挙げてこの挽回策等に取り組んでいる。芦屋競艇場としても事業の経営改善に取り組んでいる。

また、施設会計においては、施設改善による起債償還等、厳しい財政運営ではあるが、26年度から一般会計の繰り出しを見込んでおり、今後も競艇事業を続けていくことが有意義だと考えている。

今井

競艇事業については、基本的な考えを持つて、今後も努力して欲しい。

貝掛 俊之 議員

学校教育について

Q

図書購入に関する予算の増額が必要では

A

教育長等と協議し、図書充実に努めたい

貝掛

学校教育における読書の取り組みについて尋ねる。

学務課長

本を読む動機づけをすることで、低学年から読書習慣を身につけさせる取り組みを行っている。

また、蔵書数の確保等、毎年一定の図書活

動費用を予算化し、読書活動の充実に努めている。

貝掛

山鹿小学校では、「山鹿読書百選」と銘打って、百選を読み終えた生徒を表彰している。これが、読書への動機付けとなっているため、他の小学校でも検討して欲しい。

次に、山鹿小学校の蔵書数は、約8000冊と文科省の基準冊数を満たしているが、図書の中には、1974年発行の地図等があり、実用的でない古い本が約1/4はある。

現状の予算では、図書充実は不可能である。また、広報等で保護者に寄贈を呼びかけてはどうか。

町長

学校図書館の現状に驚いており、教育長等と協議して対処していきたいが、福島県矢祭町で不要になった本の寄贈を呼びかけたところ、実用的でない本が集まり、処理費が必要となったとの一面もある。

そのため、広報での呼びかけは方法等を検討する必要があるが、PTA等で協議し、必要な本や備品を絞る方法がよいと考えている。

貝掛

協議して、図書館充実に努めて欲しい。



社会教育について

Q 図書館リニューアル後は、図書の充実が必要では

A 厳しい財政状況であるが、図書館の充実に
向け検討していきたい

貝掛

図書館の蔵書数は、約4万冊あるが、古く実用的でない本が、1万冊以上あると聞いている。

図書館リニューアル後は、図書の充実が必須であると思うが、目標の蔵書数は何冊か。

社会教育課長

7万〜7万5000冊を考えている。

貝掛

その蔵書となれば、岡垣町の図書館と同程度となる。当町の19年度における図書購入費は約235万円で、岡垣町は約840万円である。

つまり、リニューアル後は、約800万円は図書購入費に充てるべきである。

財政が厳しいのはわかるが、図書の充実を図って欲しい。

町長

図書館の外見だけがきれいになっても意味がないため、十分検討していきたい。

辻本 一夫 議員



図書館幼児室で本に親しむ親子の様子

経済・景気対策について

Q

町独自の景気対策を実施する考えはないか

A

原資の確保は難しいが、何らかの手立ては必要だと考えている

辻本

経済・景気対策の取り組み状況を尋ねる。

町長

商工会会長から議会で平成14年1月に満場一致で採択された100万円未満の物品、食材等の町内業者優先発注の件について申し入れがあり、各課長を通じて職員に周知を図っている。

また、町民の消費拡大や商工業者への景気対策支援として、商工会と産業観光課（現…地域づくり課）で商工会の施策であるハッピー商品券の販売に関し、協議するよう指示を出している。

辻本

国や県では、中小事業者に対する金融支援策を検討し、北九州市では、約50億円の補正予算のうち38億円が景気対策の予算である。

当町でも町内どこでも使える独自の振興券を発行する等、景気対策のための予算を組み、地域の活性化に目を向けた取り組みを行って欲しい。

町長

市町村レベルでは、国や県から原資を得なければ、財政上行うことは難しいが、何らかの手立ては必要だと考えている。

人材育成・行政サービスの向上について

Q

職員力向上のため、研修システムと人事評価制度を連動させる必要があるのでは

A

即実行は難しいが、2つの制度を組み合わせて実施していきたい

辻本

職員のやる気や能力を引き出すためにも研修システムと人事評価制度をリンクさせることが、総合的な人材育成につながると思うが。

総務課長

20年度中に人材育成基本方針を策定する予定であり、その中で人材育成型の人事評価制度の導入等を検討している。

人事評価制度は、様々な検証課題もあるため、21年度からの実施は難しいが、人事評価制度と研修制度を組み合わせて人材育成を図りたい。

辻本

行政サービスの向上の観点から、ほほえみホールで行っていた休日窓口サービスは、新庁舎へ移転した後は、どのように対応するのか。

総務課長

新庁舎での休日窓口サービスは、考えていない。

辻本

働く母親も多いため、新庁舎での休日窓口サービスをやって欲しい。

また、町長は、職員力の向上に目を向けているが、職員にどのようなことを示唆しているのか。

町長

職員力向上のため、積極的な研修参加を促している。

また、職員間での情報共有をさせるため、朝礼と課内会議の推進を徹底させている。

辻本

情報の共有は重要であり、さらに充実させ、住民サービス向上に努めて欲しい。

小田 武人 議員

健全な財政運営について

Q 決算審査意見書の指摘を受け、今後どのように取り組んでいくのか

A 行革の中で目標達成できていないものもあり、今後一層努力していきたい

小田

19年度決算意見書で、種々の指摘や要望がされているが、特に福祉サービスの維持向上等、今後の政策に具体的にどのように取り組んでいくのか。

企画課長

監査意見書には、①町税等の各種徴収金の徴収率向上②各種施策展開を行ったものの評価③職員におけるコスト意識の徹底④行政の簡素化、合理化⑤長期的展望の財政の確立最後に、これらを進めて住民の福祉の向上を図ることが述べられている。

この指摘については、17、21年度までの行政改革大綱及び集中改革プランの中で実施しているが、徴収率の向上等、目標を達成できていないものもあり、一層の努力が必要であると認識している。

小田

19年度の集中改革プラン推進による効果額が約3億7500万円と評価できるが、19年

度決算において経常収支比率が100を超えており、財政運営は、自由度が低く、弾力性を失っている。

このような状況を改善するために、行革で重点項目を推進していると思うが、全職員がこの意見書をどのように理解しているのか。

町長

監査意見内容は、各課長を通じ、周知徹底させて、職員の気を引き締めていきたい。

小田

決算は一過性のものと軽々に取り扱うのではなく、予算の適正執行や行政効果等を検証し、次年度以降の予算編成や事業展開に活用していくことが大切である。より一層の財政運営の健全化に努めて欲しい。

川上 誠一 議員

芦屋基地について

Q 町民の安全等のため、PAC3配備中止等を求めているのか

A 国策であり、中止等を求める考えはないが、様々な場面で協議していく

川上

在日米軍再編計画による2000メートルの滑走路の延長やペトリオットミサイル（以下・PAC3）の2010年配備等、日米軍

町民の安全にかかる問題であり、動向を把握するように力を尽くして欲しい。

住民は、常に危険と隣合わせであることを理解し、住民の航空機騒音被害対策を求める。

子育て支援事業推進には人材が不可欠であり、協議の中で登録制等に関する内容も出ている。

ターがおられ、広く声をかけて支援を仰ぎたい。

岡

行政主導によりサポーター育成等を実施して欲しい。また、郡内のサポーターと連携するとのことだが、一般の方でも子育て支援に意欲的な方もおられ、その方への指導や研修の実施等も協議して欲しい。

子育て支援センターへの期待は大きく、施設の充実等、検討には時間がかかると思うが、町民の声を反映させて欲しい。

Q

「親子の集いの場」として学童保育の空き時間を利用できないか

A

安全面や本来機能の優先当により提供は難しい

岡

「親子の集いの場」として、山鹿小学校区内にある学童保育施設の空き時間を利用することはできないか。

社会教育課長

施設の安全管理や本来機能の優先充実の面から、施設の安定提供は難しいため、開設予定の子育て支援センターを活用したいと考えている。

岡

車がない方にとって、旧すぎな園跡での子育て支援は難しい。次世代育成支援計画に

公民館等の開放とあり、山鹿の学童保育施設が無理ならば、公民館等で子育て支援する場を提供することも模索して欲しい。

町長

子育て支援センターが、近場にあることが望ましいがあくまで、子育て支援の核としての位置づけである。

花美坂では、地区公民館で子育て支援活動をしたいという話もあり、まずはボランティアの方が声を上げて欲しいと考えている。

障がい児の学童保育について

Q

重度障がい児の学童保育を進めて欲しいが

A

現体制では受け入れは難しいが、検討していきたい

岡

郡内他町と同様に、養護学校に通学中の障がい児の学童保育を進めるべきと思うが。

環境福祉課長

軽度の障がい児は、社会教育課（現…生涯学習課）で実施している留守家庭事業で受け入れているが、重度の障がい児の受け入れは、現体制では難しい。

次世代育成支援行動計画に、障がい児の受け入れも取り上げているため、今後、検討していきたい。

岡

養護学校に通学している子の親は、特に長期休みなど大変である。障がい福祉計画の日に一時支援事業を積極的に利用できるようPRする等、行政サービス向上に配慮して欲しい。

児童虐待防止とDV防止対策について

Q

相談窓口の充実に努めて欲しいが

A

郡内他町等を参考に検討していきたい

岡

児童虐待とDVの関連性も指摘されているが、当町における相談窓口の対応について尋ねる。

環境福祉課長

法改正により17年4月から市町村が児童虐待通告窓口となり、軽微な事例は市町村、重篤な事例は児童相談所となったが、早期発見早期対応の観点から、18年8月に芦屋町要保護児童対策協議会を設立し、対策を協議している。

DVの窓口は、専任係長が対応しており、状況に応じて、遠賀保健環境福祉事務所や家庭児童相談室の紹介等を行っている。



岡

賑わいあるまちづくりについて

物産館と生産者市場を設置して欲しいが

設置すると断言はできないが、まずは設置に向けた仲間づくりをして欲しい

まちづくり委員会で、築上町の物産館「メ
タセの杜」、みやこ町の地域密着型生産者市
場「国府の郷」の視察が行われたが、どちら
も盛況であった。

そこで、当町の景気対策として、競艇場駐車場には、観光客取り込みのための物産館を設置し、船頭町駐車場には、地域住民のために生産者市場を設置できないか。

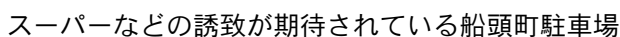
2つが無理であれば、両方の機能を兼ね備えたものをつくり、窮地に陥った商工業者や交通手段のない高齢者等を救うべきと思うが。

町長

245号線沿いの競艇場外向発売所前の駐車場は、道の駅検討委員会で検討されている。

また、船頭町駐車場跡地は、町主導のもと用途地域の見直しを行い、スーパ一等の誘致を考えている。

行政としても何らかの景気対策を打たなければならず、物産館等を設置できればという



強い思いはあるが、当町の地域性を考えた場合、商工会、観光協会等の協力や気持ちがないといけない。

行政はあくまでもサポート役であり、やる気のある人が集まり、真剣に取り組んでいただければ、行政は必ずサポートしていく。

「メタセの杜」や「国府の郷」にしても、
現まで4、5年かかっており、やりたいとい
う気持ちを継続し、仲間をふやして欲しい。

田島

町長の強いリーダーシップのもと、スピーディーに実現して欲しい。

11

平成20年第4回定例会 議決結果

議案番号		議 案 名	議決結果	状 況
町長提出	第 82 号	芦屋町職員の共済制度に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	満場一致
町長提出	第 83 号	芦屋町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	満場一致
町長提出	第 84 号	芦屋町敬老祝金条例の一部を改正する条例の制定について	継続審査	
町長提出	第 85 号	芦屋町青少年問題協議会設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	満場一致
町長提出	第 86 号	芦屋町学校給食センター設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	満場一致
町長提出	第 87 号	平成 20 年度芦屋町一般会計補正予算（第 3 号）について	原案可決	満場一致
町長提出	第 88 号	平成 20 年度芦屋町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）について	原案可決	満場一致
町長提出	第 89 号	平成 20 年度芦屋町競艇施設特別会計補正予算（第 2 号）について	原案可決	満場一致
町長提出	第 90 号	平成 19 年度芦屋町一般会計決算の認定について	原案認定	賛成多数
町長提出	第 91 号	平成 19 年度芦屋町国民健康保険特別会計決算の認定について	原案認定	満場一致
町長提出	第 92 号	平成 19 年度芦屋町老人保健特別会計決算の認定について	原案認定	満場一致
町長提出	第 93 号	平成 19 年度芦屋町国民宿舎特別会計決算の認定について	原案認定	満場一致
町長提出	第 94 号	平成 19 年度芦屋町給食センター特別会計決算の認定について	原案認定	満場一致
町長提出	第 95 号	平成 19 年度芦屋町競艇施設特別会計決算の認定について	原案認定	賛成多数
町長提出	第 96 号	平成 19 年度芦屋町訪問看護特別会計決算の認定について	原案認定	満場一致
町長提出	第 97 号	モーターボート競走用艇購入契約の締結について	原案可決	満場一致
町長提出	第 98 号	福岡県後期高齢者医療広域連合規約変更の協議について	原案可決	満場一致
町長提出	第 99 号	芦屋町教育委員会委員の選任同意について	同 意	満場一致
報 告	第 6 号	専決処分事項の報告について	報 告	
報 告	第 7 号	専決処分事項の報告について	報 告	
報 告	第 8 号	専決処分事項の報告について	報 告	
議員提出	第 3 号	芦屋町議会委員会条例の全部を改正する条例の制定について	原案可決	満場一致
議員提出	第 4 号	芦屋町議会会議規則の全部を改正する規則の制定について	原案可決	満場一致
請 願	第 2 号	精神障がい者の福祉施設の確保に関する請願書	原案採択	満場一致
決 議 案	第 2 号	芦屋町緊急経済対策の推進決議（案）について	修正決議	賛成多数

平成21年第1回臨時会 議決結果

議案番号		議 案 名	議決結果	状 況
町長提出	第 1 号	芦屋町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	賛成多数
町長提出	第 2 号	平成 20 年度芦屋町一般会計補正予算（第 4 号）について	原案可決	満場一致
町長提出	第 3 号	福岡県遠賀郡芦屋町外二カ町競艇施行組合規約変更の協議について	原案可決	満場一致
町長提出	第 4 号	専決処分事項の承認について	原案承認	満場一致
町長提出	第 5 号	専決処分事項の承認について	原案承認	満場一致

議
員
控
室

ごまかせないと思います。年末の引越し作業を無事に終え、芦屋町議会会も新しい庁舎で仕事始めと申しました。町民会館での仮住まいに比べると明るく広々として、気持ちが良い反面、しばらくは落ち着きませんでした。そうこうしているうちに、新しくなった議場では、第1回臨時会が開催され、緊急経済対策等に関する補正予算が上程されるなど、年始から今後の動向に目が離せない状況です。雇用不安等の中で、今一番求められていることは何なのか。民意はどこにあるのか。そのみなさんの声を議員が代弁者となり、町政に伝えていくことが議場で行われています。庁舎改修工事に伴い、議場も車椅子用の傍聴席が完備されるなど、傍聴環境はよくなっています。きっかけは、「ちよつと新しくなった議場をみてみよう」でもかまいません。皆さんが支えた議員が何を主張し、執行部はどう回答をするのか。活字中心の議会だよりでは、その場の雰囲気まではお伝えできません。是非ご自身の目と耳と肌で感じてみてください。傍聴を心よりお待ちしております。

(N・H)